

スマイルサミット

11月13日（金）、引退したばかりの第27代生徒会執行部がコンピュータ室に集まった。東根市の児童・生徒会が一堂に会した「スマイルサミット」（リモート開催）に参加するためである。今回の議長校は東根三中、テーマは「あいさつ」と「いじめ」であった。初めに「あいさつ」について、東根一中の取り組みが紹介される。

次に、「いじめ」について神町中学校の取り組み（スマイルプロジェクトや友愛宣言について）が紹介される。山上心くんは「年度当初に学級目標をつくりますが、クラスがなじんできたところに、もう一度いじめについて考える時間をつくることは大事だと思います。いじめはゼロにはできないかもしれないけど、少しでもゼロに近づくようにみんなで考えることができました。」と、画面を通して話しかける。

東桜学館中学校からは、「自分もいじめられると思うと、いじめがあってもなかなか注意できないと思います。どうやって、注意できるような環境をつくっていますか？」との質問が出された。山上心くんは、「神中でも注意できる人は少ないし、関わりを持たないようにする人が多いようです。神中では注意するというよりも、いじめをする人を減らす環境づくりを行っています。友愛宣言では人付き合いについて振り返り、良いところ見つけでは人の良い面に目を向けることでいじめが減るのではないかと考えました。」と答えた。東桜学館中学校からは、「いじめを注意するという発想ではなく、いじめそのものが生まれない環境をつくっていかうとする考え方はとても参考になりました。私たちも参考にしていきます。」との応答があった。最後に、東根市内小中学校児童・生徒会による「モア スマイル宣言」が採択され、閉会した。

スマイルサミットとは？

「スマイルサミット」は、神町中学校が発祥である。平成25年、村山警察署との交流事業「元気っこ神町ネットワーク」の一環として行った「神中リアルトーク」が始まり。「いじめ」や「よりよい人間関係」「SNS」などをテーマに神中生の本音を語り合い、行動目標などを決定した。平成27年には神中学区の3校と市内中学校に参加校が拡大。平成28年からは市内小中学校全校が参加し、名称も「スマイルサミット」となった。

東根市 小中学校児童・生徒会 『モア スマイル 宣言』

私たちは、仲間、学校、地域、東根市全体に笑顔を広げるために、次のことを宣言します。

- わたしたちは、いじめのない明るい学校をつくります。
- わたしたちは、互いの「よさ」や「ちがい」をみとめあいながら、思いやりあふれる学校をつくります。
- わたしたちは、さわやかなあいさつを心がけ、仲間や地域に笑顔の輪を広げる学校をつくります。

このモアスマイル宣言を心に持ち続け、みんなが笑顔で生活できる東根市を目指して、努力することをここに誓います。

令和2年11月13日 東根市スマイルサミット

